

11 外国語活動・外国語

○内容の構造

- ・外国語活動及び外国語科の内容は、「知識及び技能」として(1)「英語の特徴等に関する事項」、「思考力・判断力・表現力等」として(2)「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」と(3)「言語活動及び言語の働きに関する事項」を位置付けています。
- ・(3)「言語活動及び言語の働きに関する事項」は、「知識及び技能」及び「思考力・判断力・表現力等」を身に付けるための具体的言語活動、言語の働き等を整理しています。
- ・外国語活動では、「聞くこと」「話すこと」の2領域で言語活動を設定しています。
- ・外国語科では、「聞くこと」「話すこと[発表]」「話すこと[やり取り]」「書くこと」「読むこと」の5領域を設定しています。
- ・弾力的な指導のために、小学部・中学部は段階を設けられていません。

○表の見方

- ・内容の項目の、小学部から高等部までの系統性が分かるように表記しています。高等部段階の外国語教育への接続を意識しながら取り組んでください。
- ・取り扱う事項が、小学部では「身近で簡単なこと」、中学部では「日常生活に関する簡単な事柄」、高等部では「簡単な事柄」などのように、場面や状況がステップアップしています。内容項目の各所に、同様のことがあるので留意してください。
- ・「●」は学習指導要領解説の、具体的な内容として参考になるものを取り上げています。「・」は特に留意する必要があると思われる事項を取り上げています。その他にも多くの留意事項が書かれているので解説で確認してください。
- ・個々の児童や生徒の障害の状態や特性により、言語でコミュニケーションを図ることの表現方法は多様であるという認識のもと、それぞれの児童生徒が身に付けてきたコミュニケーション手段を活動に入れるなど、教材・教具の工夫により、英語に親しみ、コミュニケーションを図る楽しさを育成することが大切です。
- ・児童生徒が興味・関心をもったり、外国語の音声に慣れ親しんだりするために、日常生活に関わりのある初歩的な歌やゲーム、ネイティブスピーカーとの関わりなどによる、外国語を用いた体験的な活動を大切にしてください。
- ・活動内容は、児童生徒の興味・関心のあるものや既に経験している活動や事柄を扱うことが大切です。したがって、他教科との関連を図ることは大変有効です。

外国語活動・外国語

外国語活動・外国語				
目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語や外国の文化に触れることを通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語の音声や基本的な表現に触れる活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
知識及び技能	(1)外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。	(1)外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1)外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	(2)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。	(2)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	
学びに向かう力、人間性等	(3)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3)外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
段階の目標	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
知識及び技能	—	—	ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。	ア 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	—	—	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
学びに向かう力、人間性等	—	—	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ウ 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
知識及び技能	(1)英語の特徴等に関する事項	(1)英語の特徴等に関する事項	ア 英語の特徴等に関する事項	
	具体的な言語の使用場面や具体的な状況における言語活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
知識及び技能	ア 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。 ・言葉を使ってやり取りをする様子を見たり、既知に知っている遊びや活動の中で相手とやり取りをしたりする体験。	ア 英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむこと。 ・英語の音声…英語の歌、文字、食べ物、スポーツ、生活用品など ・基本的な表現…挨拶、指示、質問などのうち初歩的なやり取り	(7) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現などについて、日本語との違いに気付くこと。 ・英語の音声…英語の歌、文字、食べ物、スポーツ、生活用品など ・基本的な表現…挨拶、指示、質問などのやり取り	

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
知識及び技能	—	(7) 英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとする事。	㉞ 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くこと。	㉞ 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くこと。 ※語彙を中心に読んだり書いたりし、簡単な語句や基本的な表現については聞くこと、話すことで扱う。
	—	(4) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ること。 ・体験的な活動の繰り返しにより、英語の音声、文字、表現が相手との意思疎通の手段であることへの気付きを促す。	㉞ 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えるなどの働きがあることに気付くこと。 ※高等部では、実際のコミュニケーションや体験的な繰り返しにより、物の名称を表したり要件を伝えたりするといった働きがあることへの気付きを促す。 ※国語科（中学部）での既習事項と関連を図った指導により、日本語や英語に同じ働きがあることに気付くようにする。	内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。 ※1段階の気付きを自覚へ促す。 ※取り上げる事物や要件など題材を広げ題材が変わっても同じ働きがあることに気付かせる。 ※気付いたことを発表したり書いたりするなどの言語活動を通して理解をつなげる。 ※意図的に言葉を使うよう、互いに事物の内容や要件を伝える活動を設定する。
	—	(7) 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ること。 ・基本的な表現や語句…(3)で示している言語活動や言語の使用場面で用いる表現や語句	㉞ 簡単な語句や基本的な表現を使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。 ＜聞くこと、話すこと＞ ・簡単な語句や基本的な表現…(3)で示している言語活動や言語の使用場面で用いる簡単な語句や基本的な表現	などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くこと。 ※内容を知っても使うまでに時間がかかるため、2段階まで通して指導。 ※簡単な語句や基本的な表現を相手や場面設定などに変化をもたせる。
	イ 日本と外国の言語や文化について、以下の体験を通して慣れ親しむこと。	イ 日本と外国の言語や文化に慣れ親しむこと。	—	—
	(7) 英語の歌や日常生活なじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。 ・日常生活で繰り返し使用している言葉や国語科の学習で覚えた言葉等について、実物や絵カードを見ながら英語の音声を聞く。 ※英語特有のリズムやイントネーション、発音に親しませる。	(7) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ること。	—	—
	(4) 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。 ・ネイティブスピーカーや地域に住む外国人との交流で簡単な遊びやゲームをともにしたり、動画や写真等の映像資料を活用したりして、食生活・遊び・行事等の違いを知る。	(4) 対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしたりすること。 ・対話的活動…午前や午後及び就寝時など日常生活での挨拶。初対面の挨拶、体調や気分、好きなもの(こと)を尋ねる、「立つ」「座る」などの動作を指示する際のやり取り。 ・外国人が使う「OK」「No good」自分を指し示すジェスチャーなど。	—	—
	思考力、判断力、表現力等	(2) 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(2) 情報を整理し、表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ・友達や家族、先生との会話、食事や買い物などの場面を設定、遊びやゲームやクイズなどの活動	イ 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
思考力、判断力、表現力等	ア 身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとする事柄。 ・よく知っているものや事柄、人のうち簡単な語などで表すことができるものについて、コミュニケーションの相手や動画や音声等の教材から再生される映像や音声に興味関心を持って見たり聞いたりする。	ア 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うこと。 ・自己紹介などの場面で、好きなもの(こと)や得意なことを簡単な語や基本的な表現で発表したり、それを聞いて相手のことを知ったりする。	(ア) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 ＜聞くこと、話すこと〔発表〕、話すこと〔やり取り〕＞ ・買い物の場面において、相手とのやり取りの中で買いたい物の名称や色、数などを簡単な語句で伝え、買うことができる。 ※自分のこと、友達や家族、学校生活など身近で簡単な事柄について、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて内容を整理した上で、簡単な語句などの中から適切なものを選び、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	(ア) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うこと。 ・これまでの学習で十分に活用されてきた、“Excuse me.”や“Thank you.”などの慣用表現。 “I have breakfast at seven every morning.”などの文で表現されているもの。
	イ 身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとする事柄。 ・コミュニケーションの相手や活動をともしている人が話している英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じようとする事柄。	イ 日常生活に関する簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり、質問に答えたりすること。 ・自分の考えや気持ちを相手に伝えるために、合う語や基本的な表現を選んだり、具体物などで相手に伝えたりする。 ・話し手が伝えた内容に対してYes やNo, 簡単な語で返答、相づちや動作で反応する。分からない時や質問のある時は聞き返す。	(イ) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすること。 ＜読むこと、書くこと＞ ・自分のこと、友達や家族、日常生活について、絵や写真等、言語外情報を伴って示された簡単な語彙などをそれが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりする。 ・語の綴りが添えられた写真や絵カードを見ながら何度も聞いたり話したりして音声に十分に慣れ親しんだ語が文字のみで提示された場合、その表す事柄や動作などを思い浮かべながら読む。“milk”で牛乳を思い浮かべる。“eat”で食べる動作を思い浮かべ「食べる」という言葉と結び付ける。)	・“dog”が思い浮かべられるようになったら、“a black dog”から“dog”を見つけて犬を思い浮かべよう。 ※取り上げる語彙を増やす。
	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項	ウ 言語活動及び言語の働きに関する事項	
(1) 言語活動に関する事項	(1) 言語活動に関する事項	(1) 言語活動に関する事項		
(2) に示す事項については、(1) に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を取り上げるようにする。	(2) に示す事項については、(1) に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。	イに示す事項については、アに示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。		
ア 聞くこと (ア) 既に経験している活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動。 ※外国語を正確に聞き取ったり、その内容を正しく聞き取り理解させたりすることを求めているのではないことに留意。	ア 聞くこと (ア) 文字の発音を聞いて文字と結び付ける活動。 ※「文字の発音」…文字（英語の活字体の大文字と小文字）の名称の読み方を発音 ・アルファベット1文字での提示で、あるいは絵と単語を合わせたカードでの提示で一つの文字に着目させる。	(ア) 自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。 ・自己紹介で述べるような出身地、得意なことなど、一日のスケジュール、週末の出来事、休暇の予定などについての簡単な語句や基本的な表現について、必要な情報を得ようと聞く。 “I belong to the chorus club. I’m good at singing.” “I get up at six every morning. And I go to school by bus.”	(ア) 自分ことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。 ※学校での出来事や行事、友達のことなど生徒の興味・関心や実態に応じて話題を広げる。 ・複数の異なる人物のイラストを同時に提示し、“long hair” “a white shirt”“red glasses”と話されるのを聞いてこれらの表現に合うイラストを選ぶ活動。 ・生徒の絵やアルバムなどを見ながら教師が英語でゆっくり説明するのを聞く活動。	

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
思考力、 判断力、 表現力等	(イ) 既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。 ※知識として語句や表現を与えるのではなく、児童自身が体験的活動を通して意味を理解し語句や表現に慣れ親しんでいくことが求められる。	(イ) 身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動。 ※母語においてすでに理解できている、食べ物、動物、色、数字などが英語で話されるのを聞いてイラストや写真などを選ぶ。 ※教師の音声をリピートさせながら、聞くことを意識させる。 ・友達の音声を聞いて何を示しているか聞き取ったりする。	④ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取る活動 ・自己紹介の場面で、カレンダーを参考にしながら友達の日付や時刻を書かれたものなど、誕生日などを聞き取ったり、時計や時刻が書かれたものなどを参考にしながら友達の起床時刻などを聞き取ったりする。	④ 日付や時刻、値段などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動 ・授業の始めに日付を確認したり、ゲームや競争などで数を数えたりする。 ・(ウ)「話すこと〔やり取り〕」の⑦の取り組みで、話し手がインタビューで聞き取る活動。
	—	(ウ) 挨拶や簡単な指示に応じる活動。 ・「Good morning.」などの呼びかけに対して内容が分かり、返答する、話し手の方を向く、挙手するなどの動作で応じる。 ・指示に合うジェスチャーを教師が見せる、生徒に模倣させる、教師の動作を見ながら体を動かす。 Stand up./ Sit down./ Look at this card. Run./ Walk./ Stop.	—	⑦ 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真を参考にしながら聞いて、必要な情報を聞き取る活動。 ・教師が、「Hello. I want to be a pilot. I want to visit many countries. …」などと話している英語を、その内容に関するイラストや写真等を見ながら、就きたい職業、その理由などの情報を聞き取る活動。
	イ 話すこと	イ 話すこと〔発表〕	(イ) 話すこと〔発表〕	
	(ア) 既に経験している活動や場面で、実物や写真などを示しながら自分の名前や好きなものなどを簡単な語などを用いて伝える活動。 ・やり取りや人前での発表まではねらっていないが、伝える相手を意識して話す場面設定が大切。	(ア) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現する活動。 ・人前での自己紹介などで、基本的な表現に事実を組み合わせさせて表現したり、簡単な語で自分の好みを端的に表現したりする。 I'm Mika. / I'm thirteen years old. / I like dogs.	⑦ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をする活動。 ・「My birthday is ~.」 「I have/play/watch ~.」 「I'm good at ~.」 「I want to ~.」	⑦ 簡単な語句や基本的な表現を用いて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを話す活動。 ・身近で簡単な事柄…学校や家庭で起こる日常的な出来事や興味・関心のあること ・修学旅行で興味・関心があることとして、「Naha is a beautiful city. I like Naha. I want to go to Naha.」などの発表。
	(イ) 既に知っている歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。 ・他教科等で学習した内容を、簡単な語や身振りを使って表現する。 ・これまでに経験した活動を、簡単な語や身振りなどを使って行う。	(イ) 身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現、ジェスチャーを用いて表現する活動。 ・具体的な事物の数や色、形、大きさなどを表現する。 ・人前で実物やイラスト、写真を見せながらその様子や状態を簡単な語句や表現で発表する。 It's red and white. / Very small. ・二つの物を提示してその状態を比べ「long / short」などで表現する。 ・「One, two, three…」と数える、物に触り「warm / cold」で表現するなどの発表内容の構成による活動。	—	—

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
思考力、判断力、表現力等		ウ 話すこと〔やり取り〕 (7) 簡単な挨拶をし合う活動。 ・挨拶の基本的な表現で話しかけたり、その挨拶に対して応じたりする。	(7) 挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。 ・年度始めに学級で行う自己紹介やレストランで客と店員になりきって行う活動。 A: What would you like? B: I'd like pizza. A: OK. How about drinks? B: No, thank you. ・「挨拶」、「自己紹介」、「買物」、「食事」、「道案内」、「旅行」など「②言語の働きに関する事項」の(7)の⑦で示す「特有の表現がよく使われる場面」を設定して行われる。	(7) 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。 ・A: I like sushi very much. It's delicious. B: Me, too. Sushi is delicious. I like salmon. Do you like it (salmon)? A: Yes, I like salmon, too. ・やり取りがある程度は継続するように、相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりすることができるようになるための指導も必要。例えば、“You like sushi.”（繰り返し）や“Me, too.”（応答）“Do you like it(salmon)?” “How about you?”（質問）など。
		(イ) 自分のことについて、具体物などを相手に見せながら、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合う活動。 ・自分の好きなことや住んでいる所、家族、自分の気持ちなど伝えたい内容について、簡単な語句や表現で相手に伝える。 ・How about you? などの表現で相手に聞き返したり、簡単な語句で答えたりする。 ・伝えたい内容について、知っている語を用いて話したり、教師のサポートを受けながら基本的表現を選んで話す。		
		(ウ) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動。 ・自分の好みや欲しいものなどの簡単な質問に対して答えたり、聞き返されたことに対して答えたりする。 Do you like sushi? - Yes./ No. How about you? - I like curry and rice. ・自分の意思を表す表現も含む。 Pardon? / I don't know.		
		エ 書くこと (7) 身近な事物を表す文字を書く活動。 ・音声で十分慣れ親しんだ語を中心に、文字がその事物を表す役割があることを理解させながら、活字体の大文字、または小文字を書く。	(エ) 書くこと (7) 活字体の大文字、小文字を区別して書く活動 ・英語の文字（活字体）には大文字と小文字があることを知り、区別して書く。 ※小文字と大文字をマッチングさせた後に書く。	(7) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。 ※書き写す語彙を増やしたり、伝える相手や目的を広げたりしながら書くことに慣れ親しむ。 ※「書き写す」…語彙などを見ながらそのまま書くこと。

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
思考力、判断力、表現力等	—	(イ) 例示を見ながら自分の名前を書き写す活動。 ・例示をなぞったり、真似たりしながら、自分の名前の表記に慣れ親しむことができる活動。	④ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動。 ・行ってみたい国を紹介するといった目的をもたせ、イラストを付した国紹介カードに国名を書き写したり、誕生会の招待状に“Birthday Party”と書き写したりする。	④ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す活動。 ※簡単な語句や基本的な表現については「聞くこと」、「話すこと」の領域で取り扱うこととしていることに留意。
	—	—	⑦ 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写す活動。	—
	—	オ 読むこと (7) 身の回りで使われている文字や単語を見付ける活動。 ・平仮名や片仮名、漢字の表記との違いに気づき、身の周りの文字の中から英語の文字がどれか分かる。 ・英語の文字には大文字と小文字があり、それぞれ似た表記であることに気付く。 ・適切な読み方の示範後に生徒に発音を促したり、その音声と文字や具体物を照らし合わせたりする。 ※生徒が文字には名称と文字が示す音があることに気付いた場合には、どちらの読み方もあることを伝える程度にする。	(イ) 読むこと ⑦ 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。 ・活字体で書かれた文字の中から、例えば A, B や a, b という文字を見て、それらが、/ei/, /bi:/を表した文字であることを認識する。 ・一文字ずつ書かれたカードの中から「/ei/」と文字の名称が読まれるのを聞いて、「A」や「a」のカードを選ぶゲームや、慣れ親しんできたカードなどに書いてある文字に注目させて一文字ずつ読ませる活動、また自分の名前の綴りを言ったりする。	(イ) 読むこと ⑦ 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。 ・海外旅行のパンフレットを模した紙面を読んで、行きたい国で有名な食べ物などの情報を得る活動や、テレビ番組欄を模した紙面を読み、曜日や見たいスポーツ（スポーツ番組名）などの情報を得る活動に取り組む。
	—	(イ) 日本の人の名前や地名の英語表記に使われている文字を読む活動。	① 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音する活動。 ・⑦の活動と併せて、自己紹介の場面で、カードに書いてある自分の名前の綴りを発音する活動。 ※文字の音の読み方については、詳しく取り扱うことはせず、どちらの読み方もあることを伝える程度にとどめるようにする。	① 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを、挿絵がある本などの中から識別する活動。 ※日記や身近な事柄についての紹介、簡単な物語などを取り扱う。 ・簡単な日記を示し、“I went to see a movie with my friends last weekend. It was so interesting.” “Where is ‘movie’?”と言ってその語を見付ける。
	② 言語の働きに関する事項 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにする。	② 言語の働きに関する事項 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにする。	②言語の働きに関する事項 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにする。	②言語の働きに関する事項 2段階の言語活動を行うに当たっては、1段階の言語の働きに関する事項を踏まえ、生徒の学習状況に応じた言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにする。 ・1段階、2段階ともに同じ事項を扱うようにする。活動で取り扱う際には、記載されている具体例を参考にしながら、他の表現を取り入れることができる。その際に、使用頻度の高いもの、汎用性のあるものなどを優先的に取り入れるようにする。

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）	
思考力、判断力、表現力等	ア 言語の使用場面の例 (7) 児童の遊びや身近な暮らしに関わる場面	ア 言語の使用場面の例 (7) 特有の表現がよく使われる場面	(7) 言語の使用場面の例 ⑦ 特有の表現がよく使われる場面		
	⑦ 歌やダンスを含む遊び ・季節の行事に関する歌や誕生日を祝う歌、音楽科の授業や体育科などで取り扱った歌やダンスなど。 ・簡単な手遊び歌やゲームなどを英語の歌や言葉に替えた活動。	⑦ 挨拶をする 例1 A : Good morning. How are you? B : I'm fine, thank you. 例2 A : Good bye. B : See you tomorrow.	・挨拶 例1 A : Good morning. How are you? B : I'm fine, thank you. I'm fine. 例2 A : Good bye. B : See you tomorrow.		
	④ 家庭での生活 ・食事や遊びなど家庭で日常的に行っている動作や一日の生活の流れ（起床・着替え・朝食といった流れ）などの場面。	④ 自己紹介をする 例1 Hi, I'm Suzuki Emi. I like baseball very much. 例2 My name is Shinya. I live in Tokyo. Nice to meet you.	・自己紹介 例1 Hi, I'm Suzuki Emi. I like baseball very much. 例2 My name is Shinya. I live in Tokyo. Nice to meet you.		
	⑨ 学校での学習や活動 など ・生活科で身なりを整える学習で扱う衣類や持ち物を英語で表す。 ・算数科で学習した数え方を英語で表す。 ・授業のあいさつを英語で表す。	⑨ 買物をする 例1 A : May I help you? B : Yes, I'm looking for a bag. 例2 A : How much is it? B : Five hundred yen, please.	・買物 例1 店員 : May I help you? 客 : Yes, I'm looking for a bag. 例2 客 : How much is it? 店員 : Five hundred yen, please.		
	—	⑤ 食事をする など 例1 A : Two hot dogs, please. B : Anything else? A : No, thank you. 例2 A : Would you like something to drink? B : Orange juice, please.	・食事 例1 店員 : What would you like? 客 : I'd like pizza. 例2 客 : How much is it? 店員 : It's two hundred yen.		
	—	—	・道案内 例 A : Where is the park? B : Go straight. Turn left. You can see it on your right.		
	—	—	・旅行 など 例1 I want to go to Izu. Which train should I take? 例2 A : Could you take a picture? B : Sure.		
	(イ) 特有の表現がよく使われる場面	(イ) 生徒の身近な暮らしに関わる場面	④ 生徒の身近な暮らしに関わる場面		
	⑦ 挨拶 例1 Good morning / afternoon. 例2 Hello. Goodbye. See you.	⑦ ゲーム ・かるた、ビンゴゲーム、ミッシングゲーム、ジェスチャーゲーム	—		
	④ 自己紹介 など 例1 Hello (Hi) , I am Haruto. I like baseball.	④ 歌やダンス ・リズムに合わせてながら聞いたまま歌い、英語をなめらかにかつリズムカルに発したり新しい語句に触れる。 ・歌に合わせてながら身振りや手振り、他者とのやり取りを加え、意味の理解に結び付ける。	—		

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）
思考力、表現力、判断力等	—	㊦ 学校での学習や活動 ・他教科等の学習で学んだことを題材として扱う。（数学での計算や、家庭科の調理実習で使った材料の名称や作り方の説明を英語で表現） ※学校生活全体で、時刻を表す表現、場所の名称など身近な題材で語を増やす。	・学校での学習や活動 例1 A: Do you have a Japanese class today? B: Yes, I do. / No, I don't. 例2 A: Pass me that pen. B: Here you are. 例3 A: How many? B: Eight. 例4 This is the music room. 例5 A: When is your school trip? B: In October.	
	—	㊧ 家庭での生活など ・日常的に行っている動作や行動を表す語句や普段から使用している事物の名称など。 ・休日の過ごし方や1日のスケジュールなど。「get up」「go to bed」	・家庭での生活 例1 I get up at six every morning. I go to school. 例2 A: What time is it? B: It's ten thirty. 例3 I eat breakfast. 例4 This is my brother. He is twelve years old. 例5 A cat is under the table.	
	—	—	・地域での生活 など 例1 Let's go to the summer festival. 例2 A post office is near my house. 例3 I belong to the basketball club. ※高等部になると、産業現場において働くことを体験したり、スポーツ大会等に出場したりするなど、校外で活動する機会も増えてくる。それらの場面での様子や体験したことなども題材として取り上げることも考えられる。	
	イ 言語の働きの例	イ 言語の働きの例	(イ) 言語の働きの例	
	(7) コミュニケーションを円滑にする	(7) コミュニケーションを円滑にする	㊦ コミュニケーションを円滑にする	
	㊦ 挨拶をする 例1 Hello. 例2 Hi!	㊦ 挨拶をする 例1 Hello, Ken. 例2 Hi, Yuki.	・挨拶をする 例1 Good morning. 例2 Good afternoon.	
	—	—	・呼び掛ける 例1 Hello, Ken. 例2 Excuse me.	
	—	㊧ 相づちを打つ 例1 Well, I know. 例2 Oh, really?	・相づちを打つ 例1 Oh, I see. 例2 Really?	
	—	—	・聞き直す など 例1 Sorry? 例2 Pardon me?	
	(イ) 気持ちを伝える	(イ) 気持ちを伝える	㊧ 気持ちを伝える	
	㊦ 礼を言う など 例1 Thank you.	㊦ 礼を言う 例1 Thanks. 例2 Thank you very much.	・礼を言う 例1 Thank you very much. 例2 Thanks.	
	—	㊧ 褒める 例1 Great. 例2 Good job.	・褒める 例1 Great. 例2 Good job.	
	—	—	・謝る など 例1 Sorry. 例2 I'm sorry.	
—	—	㊦ 事実・情報を伝える		
—	—	・説明する 例1 This is my favorite food. 例2 He is very kind.		
—	—	・報告する 例1 She can play volleyball well. 例2 We went to Kyoto.		

外国語活動・外国語

内容	小学部〔外国語活動〕	中学部〔外国語〕	高等部〔外国語〕（1段階）	高等部〔外国語〕（2段階）	
思考力、判断力、表現力等	—	—	・発表する など 例1 This is my brother. 例2 His birthday is April 6th.		
	—	—		㊦ 考えや意図を伝える	
	—	—	・意見を言う 例1 I want to watch baseball on TV. 例2 It is exciting.		
	—	—	・賛成する 例1 Yes, let's. 例2 That's a good idea.		
	—	—	・承諾する 例1 A : Let's play soccer. B : O.K. 例2 A : I want to play basketball. B : Me, too.		
	—	—	・断る など 例1 A : May I help you? B : No, thank you. 例2 A : Let's play basketball. B : Sorry. I can't.		
	—	(ウ) 相手の行動を促す		㊦ 相手の行動を促す	
	—	㊦ 質問する 例1 How about you? I'm hungry too. 例2 Do you like it? Yes, of course.		・質問する 例1 A : What sport do you like? B : I like soccer. 例2 A : Can you sing well? B : Yes, I can.	
	—	—	・依頼する 例1 Please help me. 例2 Come here, please.		
	—	—	・命令する など 例1 Go straight. 例2 Close the door.		